

みやまの風



令和8年4月9日(木)発行 園長 露木 美江 寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

つなぐ ～卒園式から入園式へ～

昨年度末、卒園式の練習は卒園児だけでなく、全園児5名の成長がはっきりと見えるものだったようです。卒園児一人の本番は、特に壇上に上がる年長さんにとってはとても緊張するものだったでしょう。それでも年少さん、年中さんの思いをしっかりと受け止めながら、立派な態度で臨むことができたそうです。この時の園児一人ひとりの思いが、新年度にもつながり、またすばらしい園生活を創造してくれると期待しています。

令和8年度がいよいよ始まりました。幼稚園に子どもたちの明るい声が響きわたり、本来の園の姿が戻ってきました。

4月8日は始業式でした。穏やかな日差しのととても気持ちのよい日でした。

4名の子どもたち一人ひとりが、進級したという自覚と喜びであふれ、その表情を頼もしいものにしてきていました。

寄幼稚園では、少人数であるからこそ、自分自身を伸び伸びと表現できる環境にあります。教師もそれを大切にし、子どもたちが自由に表現できる環境設定に努めています。そのような成果が、こんな姿に表れていることを嬉しく思いました。

9日には入園式がありました。今年度は4名の新入園児を迎えました。年中組さん、年長組さんはおにいさん、おねえさんとして、心を込めてお迎えのことばを言ったり、ダンスを披露したりしてくれました。はじめは緊張していましたが、職員の出し物を見ながら、少しずつ緊張もほぐれてきたようでした。

年長さんも年中さんも、そして新入園児も、みな一生懸命さが伝わってきた入園式でした。これからひとつずつ階段を上がって、新しい思い出をたくさんつくってほしいと思います。

右は、毎年紹介させていただいている「幼稚園教育要領」に示されている「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」です。

「10の姿」は、小学校における各教科の到達目標のようなものではなく、植物が根っこから吸い上げる栄養のようなものです。これらは、個別に発達するのではなく、相互に関連し合って積み重ねられていきます。

今年度も10の姿を常に意識しながら、子どもたちの心に栄養を蓄えていきたいと思えます。



職員の離任について

津田将美（園長）：退職

今まで、ありがとうございました

着任職員について

露木美江（園長）：新任

よろしくお願ひします